

創造・参加・実践
No.625

最新のJR西労組運動をチェックしよう!

JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



ダイレクトニュース(メール)



JR西労組 LINE



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL06-6375-9869代 JR071-7155代

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 荻山 市朗
編集責任者 宮野 勇馬

組合員の労苦に応えるベア獲得

グループへも波及する6年連続の成果

純ベア1,000円 年間臨給5.48ヶ月!

中央闘争委員会は、3月13日10時30分から交渉の席についた。組合員の負託を胸に、最後の最後まで粘り強く交渉を続け、精一杯の成果を引き出し、席上妥結した。

中央闘争委員会は、2月7日に開催された、第37回中央委員会で決定した2019春闘方針を受け、2月8日に、要求書を会社に提出し、組合員とその家族の負託に応えるべく、鋭意交渉を進めてきた。

3月6日には、TKPカーデンシティ大阪リバーサイドホテルにおいて、JR連合近畿地方協議会、JR西日本連合の仲間450名とともに、春闘総決起集会を開催

した。会場は、組合員の熱い思いが詰まった403枚の撤布で真っ赤に染められ、春闘の熱気は最高潮に達した。

そして、集中回答日の前日3月12日には、中央本部会議室にて、各地本から届いた撤布に囲まれる中、地本代表者会議を開催し、荻山委員長から春闘交渉における最終的な情勢が報告さ

された。また、JR連合より松岡会長も出席し、混乱を極めるJR東労組の動向のほか、他産別・単組の動向について報告を受けた。

これまで春闘相場をけん引してきた大手自動車メーカーの動向が、昨年に続き不透明な中、JR西労組として先陣を切って交渉に臨む決意が確認された。

指定した回答日である3月13日に突入し、中央闘争委員会は、13日10時30分から交渉の席についた。荻山委員長を先頭に中央闘争委員会は、ベアにこだわって最後の最後まで粘り強く交渉し、純ベア1,000円、年間臨給5.48ヶ月の成果を勝ちとった。ベア



403枚の撤布により真っ赤に染められた会場で開催した春闘総決起集会

撤布に包まれた会議室でベアにこだわって闘い抜く決意をした地本代表者会議

粘り強い交渉の末6年連続のベアを勝ち取った中央闘争委員会

【主な妥結内容】

- 労働協約に定める**基準昇給の完全実施**(定期昇給分の確保)
- 純ベア1,000円**
(社員の職務遂行給に1,000円を加算)
※1,000円にエリア手当の反映分を含むと1,063円。社員のみ。
- 年間臨給5.48ヶ月**(昨年ベースを維持)
※支払日は6月28日(夏季2.74ヶ月)12月10日(冬季2.74ヶ月)
- プロ採(大卒)に初任給調整手当を適用**
- 九州地区において、他社特急通勤が可能に**(上限100,000円/月)

【質疑の中で確認】

- 別居手当について、育児との両立支援の観点から、6月を目途に一部要件を見直す。
- 地上職の職場環境などについて、目に見える形で改善を行うべく、今後具体的に検討を開始。
- 定年延長への対応や職制の見直しなど、昇進賃金制度全般について、労使での議論に向け、中期的な視点で検討を開始する。

組織の充実と強化、組織率95%に向けて意思統一

第2回組織対策会議でJR東労組の動向を共有

JR西労組は、3月5日に開催した第2回組織対策会議において、JR東労組の動向を共有したほか、世話役活動の充実、シニア・シニアリーダー組合員の参加促進など、組織の強化・拡大について各地本の代表者と意見を交わした。また、組織率95%に向けて重点職場の設定と、本部オル

JR西労組は、3月5日に開催した第2回組織対策会議において、JR東労組の動向を共有したほか、世話役活動の充実、シニア・シニアリーダー組合員の参加促進など、組織の強化・拡大について各地本の代表者と意見を交わした。また、組織率95%に向けて重点職場の設定と、本部オル

JR西労組は、3月5日に開催した第2回組織対策会議において、JR東労組の動向を共有したほか、世話役活動の充実、シニア・シニアリーダー組合員の参加促進など、組織の強化・拡大について各地本の代表者と意見を交わした。また、組織率95%に向けて重点職場の設定と、本部オル

JR西労組は、3月5日に開催した第2回組織対策会議において、JR東労組の動向を共有したほか、世話役活動の充実、シニア・シニアリーダー組合員の参加促進など、組織の強化・拡大について各地本の代表者と意見を交わした。また、組織率95%に向けて重点職場の設定と、本部オル

要員不足解消のためにもベアを! (2/18 西バス地本)

西バス地本は、2月18日に第28回地方委員会を開催し、約50名が各地から集結した。冒頭、西原委員長は、慢性的な要員不足を含めた安全問題、組織強化、2019春闘勝利、政治参画の必要性などを熱く語った。

7名の委員から、要員問題の解決や、春闘勝利に大いに期待する発言があり、山口書記長の総括答弁の後、西原委員長の団結ガンバローで春闘勝利の決意を固め合った。途中、浜野よしふみ参議院議員が駆けつけ、連帯の挨拶を行った。終了後は直ちに西バス会社に対して要求書を提出した。



基本給調整率の撤廃を! (2/28 中バス地本)

中バス地本は2月27日に第28回地本委員会を開催し、来賓・傍聴を含め30名が集まった。久禮田委員長は、冒頭、安全の確立、2019春闘、組織の充実・強化、選挙への対応などについて、挨拶した。

7名の委員から、安全確立、要員不足の解消、通信型ドライブレコーダーの取り扱い、55歳以降の基本給調整率の撤廃などを求める発言があった。地本闘争委員は、翌28日に中バス会社に対し要求書を提出した。



組合員の労苦に報いる成果を! (3/6 宮島フェリー支部)

JR西労組宮島フェリー支部は、3月6日、JR西日本宮島フェリー会社に対し、2019年賃金改定及び総合生活改善等に関する要求を提出した。

昨年は、西日本豪雨による運輸収入があったものの、直近の動向は好調であり、発生修繕についても組合員の懸命な努力により大きく減少させることができた。組合員が働きがいと誇りの持てる企業とし、社員及び家族の期待に応えるため、ベア3,000円、年間臨給5.7ヶ月を柱とする要求の提出を行った。



西バス、中バス、宮島フェリー支部で闘い始まる!

の獲得は6年連続であり、6年間で合計5,450円となる純ベアを積み上げることとなった。その他、九州地区における他社特急通勤が可能となったほか、質疑の中で、別居手当の見直しや地上職の職場環境改善、賃金昇進制度全般について議論に向

けた検討を開始することなどが確認され、席上妥結した。荻山委員長は妥結にあたり、JR西日本を支えるグループ会社に働く社員、組合員の賃金をはじめとする雇用・労働条件の改善、地位の向上についても、会社としても最大限の配慮をするよう求め、JR西日本以上に厳しい状況に置かれる労働力の確保と格差の是正のためにも、魅力ある賃金、労働条件、職場環境の整備は喫緊の課題であり、グループへの対策の重要性を改めて強く訴えた。

JR東労組内部でも、本部派と反本部派(東京・八王子・水戸)の対立が続いており、臨時大会の開催を巡っても、反本部派が中央本部に対して要請書を送るなど、組織運営が混乱している。また、専従指定を100名から26名に減少させたが、反本部派からは1名も選出されていない。(本部15人の他は、秋田1名、仙台1名、千葉1名、新潟1名、長野1名、盛岡2名、横浜2名、大宮2名)



4分の1の組織率等JR東労組の動向を共有

JR東社員6万人非組合員が7割にJR東日本の深沢祐一社長は15日の記者会見で、最大労組だった東日本旅客鉄道労働組合(JR東労組)で昨年、組合員の脱退が相次ぎ、今年1月1日現在、どの労組にも加入していない社員が7割近くに達したと明らかにした。JR東によると、JR東労組の組合員は昨年2月1日には約4万7千人だったが、今年1月1日現在では約1万1970人と激減した。約6万人の社員のうち、いすゞの労組に加入しているのは約1万9千人。昨年の春闘でJR東労組が会社側にストライキなどの争議行為を行う可能性があるとの通告をして以降、脱退者が相次いだ。

※詳細は、業務速報または別途送付する春闘妥結解説ニュースを参照してください。